

# 燃料電池実用化推進協議会の活動体制

2011-6

燃料電池における具体的な課題解決のために「燃料電池実用化推進協議会の概要」で記載した検討項目について、これを分野ごとにまとめて活動しています。

それぞれの項目について、「燃料電池自動車(FCV)・水素インフラ」分野、「定置用燃料電池」分野、「要素・基盤技術」分野に区別して検討しています。

各分野における活動概要は次のとおりになります。

## (1) FCV・水素インフラ分野

燃料電池自動車、水素供給インフラの普及に向けた諸課題について検討し、そのために必要な施策、シナリオ等を提案していくと同時に、民間の連携や協調した取り組みを推進します。

## (2) 定置用燃料電池分野

定置用燃料電池の普及拡大に向けた導入支援策、本格普及を見据えたさらなるコスト低減及び市場や用途拡大のための広範な技術課題について検討します。

## (3) 要素・基盤技術分野

固体高分子形燃料電池(PEFC)や固体酸化物形燃料電池(SOFC)及び水素に関する要素・基盤技術に係わる課題、将来の燃料電池本格普及を目指した課題について検討します。

上記の三つの分野ごとにワーキンググループ(WG)を設置し、さらに、それぞれの分野では課題別のサブワーキンググループ(SWG)を設置します。

なお、これらのWG、SWGは必要に応じて柔軟に設置、改廃を行うこととしています。

正会員で入会を申し込まれる場合は、「FCV・水素インフラWG」、「定置用WG」、「要素・基盤技術WG」について、参加ご希望のWG名を申込書にご記入下さい(複数の参加も可能)。

なお、SWGにつきましては所属するWGにて参加メンバーを選出しますので、SWGでの活動を希望される場合は、まずは、所属するWGへの参加が必要になることをご承知下さい。